

**授業概要**

本講義では、心理学の主要理論を、日常生活の中で経験する様々な事柄と関連づけて紹介し、人の心の基本的な仕組みや働きについて概説する。また、“科学”としての心理学がどのように形成され、発展してきたのかについて、心理学の研究史や研究法の概要についても紹介する。4年間の心理学の学びの基本を経験・理解することが本講義の目標である。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	知能
第 3 回	感情 1：感情の定義、感情の発達
第 4 回	感情 2：感情の理論、感情の制御
第 5 回	教育領域の心理学 1：学級集団、教師・仲間関係
第 6 回	教育領域の心理学 2：いじめ、不登校
第 7 回	中間試験・振り返り
第 8 回	パーソナリティ 1：パーソナリティの定義、理論
第 9 回	パーソナリティ 2：パーソナリティの査定
第 10 回	ストレスとメンタルヘルス
第 11 回	こころの問題・精神疾患
第 12 回	臨床心理学：精神分析
第 13 回	臨床心理学：行動療法・認知行動療法
第 14 回	臨床心理学：クライエント中心療法
第 15 回	心理職が活躍する領域、まとめ
第 16 回	定期試験

**到達目標**

- ①心理学の成立や発展、心理学における研究方法について、その背景や他学問領域との関連を理解する。
- ②様々な社会的事象を心理学的観点から考察することを通じて、心理学に関する基本的理論を理解する。

**履修上の注意**

- ・大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。(講義時に配布するコメントカード用紙を受け取り、これを講義終了時に提出すること。)
- ・本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席すること。

**予習・復習**

- 【予習】日常生活上の様々な出来事について、心理学ではどのように扱われているのかを考えること。  
【復習】本講義の内容は、心理学を学ぶ上で土台となるため、配布資料を用いて必ず復習すること。

**評価方法**

講義各回で提出を求めるコメントカード(約 30%)と中間試験・定期試験(約 70%)に基づいて評価を行います。※コメントカードと定期試験の成績にかかわらず、出席回数が3分の2を満たさない者の単位認定は行いません。

**テキスト**

特に指定しません。講義は配布資料に基づいて進めます。  
参考書はその都度紹介します。